

# 「長崎県総合計画みんなの未来図2030」グループワークシート

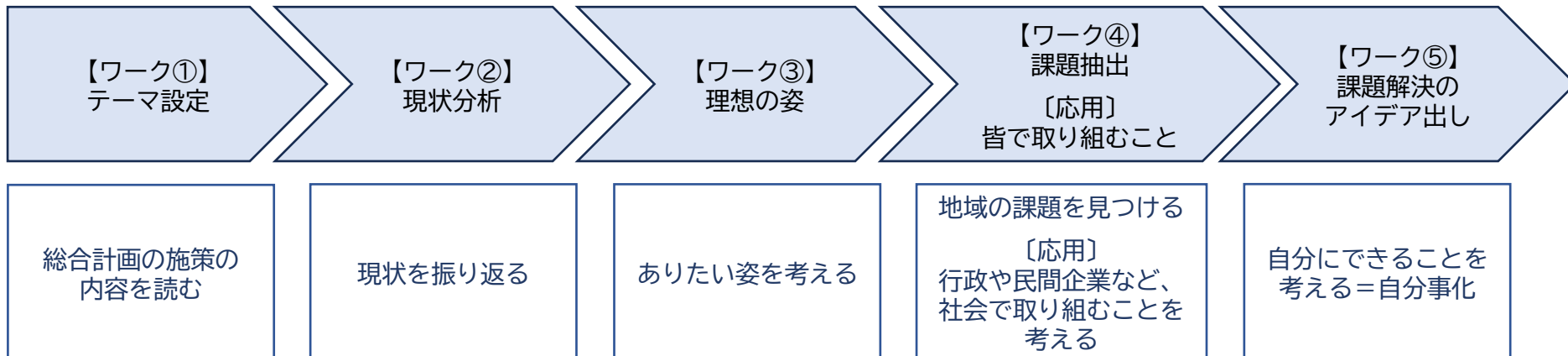
## このワークの目標

- 長崎県総合計画を身近に感じる
- 地域の課題解決に向けて、自分にできることを考える

→ 総合計画を通して、地域課題を自分事として考えられるようになる



## グループワークのステップ



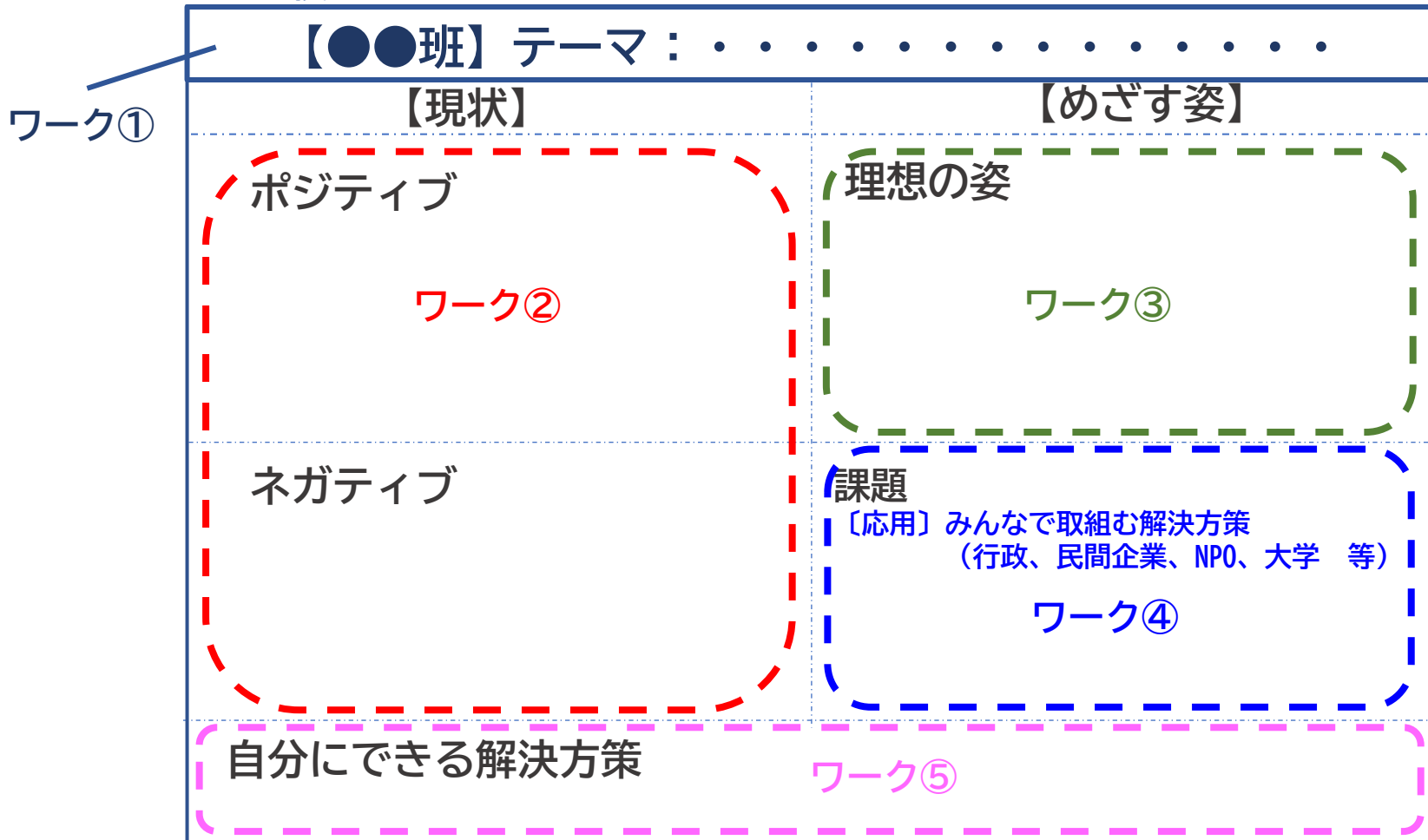
※最後に、グループ内でどのような意見が出たか発表をお願いします。

〔応用〕は、パターン④または⑤の場合のみ実施します。

# グループワークの進め方

- 各グループ、付箋紙に書いたアイデアを模造紙に貼り付けながら、皆さんが考える長崎県の現状と将来像をまとめましょう。個人で考えた後に、グループで話し合いながら付箋紙を貼り付けていきます。
- 最後に、地域課題の解決に向けて、あなたやあなたの身の回りの人が日々の生活の中でできそうなことについて考えましょう。

## 【各グループの模造紙】



### 【グループで話す時間に意識してほしいこと】

- 出た意見を批判・否定しない

→いろいろなアイデアを出しやすい雰囲気づくりをしましょう

- 自由なアイデアを歓迎する

→思いついたことからどんどん共有しましょう

- 質より量を重視する

→どんな内容かよりも、たくさんアイデアを出すことを優先しましょう

- アイデアの結合・発展を意識する

→他の方のアイデア同士をくっつけたり、アレンジしてもかまいません

# ワーク① テーマ設定

## ① グループワーク：テーマ(施策)の内容に目を通す

- 各班のテーマは、「長崎県総合計画みんなの未来図2030」の施策の中から設定してあります。
- この後のワークに向けて、冊子の該当ページに書かれている内容に目を通しましょう。  
※総合計画冊子の見方は次ページの図を参照

### 【各班のテーマ(施策)】

- 1班【1-1-1】 こどもまんなか社会の実現に向けた学校・家庭・地域が連携したこどもの育成…P16～18
- 2班【●-●-●】 ……
- 3班【●-●-●】 ……
- 4班【●-●-●】 ……

テーマとする施策は、申込者と  
事前調整のうえ設定いたします。

### 【テーマの施策ページを読む際の視点】

自分事として考えるため、以下の視点で読んでみましょう。

- その施策が、あなたやあなたの身の回り人の生活にどう関係するか
- その施策が進むことで、あなたやあなたの身の回りの人の生活がどのように変化するか
- その施策が進まないと、あなたやあなたの身の回りの人にどのような影響があるか

# 参考：総合計画冊子 施策ページの見方

## 【基本戦略2】

希望が叶う「結婚、妊娠・出産、子育て」を切れ目なく支える

### 施策1 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための一貫した支援



施策(ワークのテーマ)

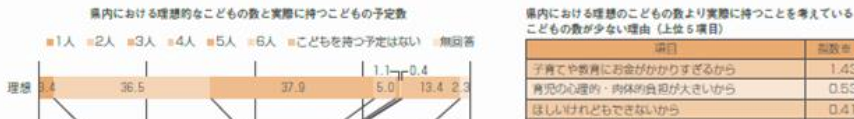
#### めざす姿

この施策の10年後のめざす姿

- 若い世代が自らの主体的な選択により、希望どおりに安心して、結婚や子どもを生ま育てることができる社会となっている。

#### 現状・課題

- 個人の価値観の多様化による様々なライフスタイルが確立している。
- 晩婚化等による妊娠・出産・育児に係る医療体制の重要性が高まっている。
- 社会全体で結婚や子育てを応援する気運醸成と当事者や関係者の意識向上が必要となっている。
- 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を実現できる環境整備が求められている。



この施策の進み具合を計る数値目標

成果指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かって」と思う人の割合	45.3% (R7年度)	70% (R12年度)
「自分の将来についての人生設計 <sup>※</sup> について考えたことがある」人の割合 <small>※仕事のキャリアだけでなく、結婚、妊娠・出産、子育て等の様々なライフイベントも含めて希望する人生を描くこと</small>	61.4% (R7年度)	70% (R12年度)
夫婦の予定子ども数と理想子ども数の差	0.39 (R6年度)	差の縮小 (R12年度)

めざす姿の実現に向けた取り組みのおおまかな内容

#### 施策概要

- きめ細かな結婚支援、妊産婦や新生児の医療体制の充実、保育の担い手確保、持続可能な共働きの環境整備など、結婚から子育てまでの切れ目ない支援を行い、社会全体で結婚、妊娠・出産、子育てを応援する気運の醸成を図ります。

### 1 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための知識の普及等と気運の醸成

県民が希望どおりに結婚、妊娠・出産し、安心して子育てができるよう、社会全体でそれらを応援する気運を醸成し、当事者や関係者への希望を叶えるための知識の普及等を促進するほか、市町に対し、地域の実情を踏まえた支援を行い、それぞれの取組を充実します。



若い世代に向けたライフデザインセミナー

- 「ながさき子育て応援の店<sup>※</sup>」などの登録等の推進による結婚、妊娠・出産、子育てに関する社会全体の気運の醸成や企業等による具体的な取組の促進
- 民間団体等との連携による子育てを応援する情報発信
- 若い世代へのライフデザイン<sup>※</sup>やプレコンセプションケア<sup>※</sup>に関する情報発信や研修等を通じた意識醸成
- 独身者及び親世代における現代の結婚事情に関する周知啓発と意識醸成
- 市町の独自取組の後押し

施策にばら下がる取組 (= 事業群)

指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
「ながさき子育て応援の店」協賛店舗の登録件数(累計)	2,557件 (R6年度)	2,857件 (R12年度)

### 2 結婚を希望する独身者への支援

独身者が希望どおり結婚できるよう、市町、企業・団体等との連携を深めながら、各主体における支援事業や県の取組との相乗効果により多様な出会いの場を創出します。また、若年層などターゲットを明確にした効果的な出会いの支援、相談窓口やセミナー等によるサポートなどを実施します。



- 県民のニーズを踏まえた結婚支援のあり方の見直し
- 長崎県婚活サポート官民連携協議会<sup>※</sup>を軸とした、官民一体となった支援体制の整備
- 県・市町、企業・団体等が実施する取組の相乗効果による多様な出会いの場の創出
- 地域、年代、職種などターゲットを明確にした婚活支援の「しかけづくり
- お見合いシステム<sup>※</sup>の運用や婚活サポーター<sup>※</sup>等による婚活支援
- 婚活相談窓口の相談機能及び結婚を希望する県民やその親などに対するサポート機能の充実

具体的に取組むこと

指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
県の支援事業による成婚数	87組 (R2～R6年度平均)	120組 (R12年度)

事業群の進み具合を計る数値目標

※ながさき子育て応援の店：中学校入学前の子どもがいる家庭を対象に、協賛店舗がお得なサービスや便利なサービスを提供する店舗  
 ※ライフデザイン：結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた人生の計画・構想  
 ※プレコンセプションケア：性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行うこと  
 ※長崎県婚活サポート官民連携協議会：長崎県・市町、民間団体等連携して結婚支援事業を推進するため、構成団体相互の連携・調整を図ることを目的とする協議会  
 ※お見合いシステム：長崎県婚活サポートセンターが運営している1対1のマッチングシステム  
 ※婚活サポーター：結婚支援事業に協力しているボランティア

# ワーク② 現状

## ① 個人ワーク：意見の書き出し

- テーマの施策について現状をどのように感じるか、「ポジティブ」なことと「ネガティブ」なことを付箋紙に書き出しましょう。短い言葉や単語でかまいません。
  - ・ ポジティブ・・・あなたやあなたの身の周りの人に起きている良い影響  
(便利になったこと、以前より良くなったと思うこと 等)
  - ・ ネガティブ・・・あなたやあなたの身の周りの人にとって良くない影響  
(不便になったこと、長年改善されていないこと 等)

<例>

テーマ：デジタル技術を活用した地域活性化と行政運営の効率化

ポジティブ・・・行政手続きのオンライン化

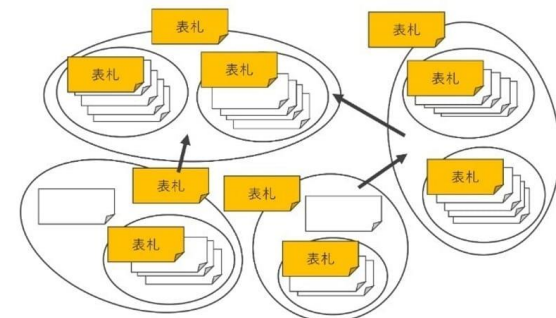
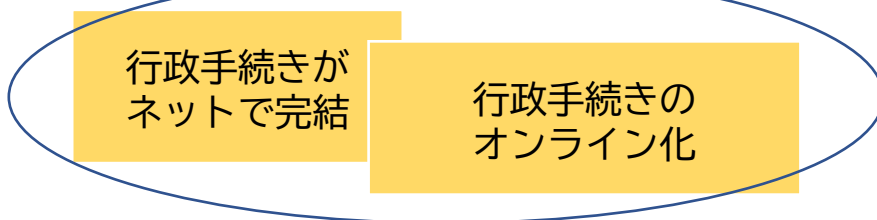
ネガティブ・・・高齢者にとってはオンライン手続きが難しい

## ② グループワーク：意見の出し合い

- 付箋に書いた言葉を出し合いながら、模造紙に貼り付けていきましょう。  
その際、共通点や同じ特徴ごとにグループ化しましょう。
- 共通点や同じ特徴で分けたグループを丸で囲み、グループごとにタイトルをつけましょう。

<例>

### スマート行政



## ワーク③ 理想の姿

### ① 個人ワーク：意見の書き出し

- テーマの施策について、将来どのような社会や状況になってほしいかを付箋紙に書き出しましょう。

<例>

テーマ：デジタル技術を活用した地域活性化と行政運営の効率化

- 高齢者でもオンライン手続きができる社会
- デジタル人材が増えている

### ② グループワーク：意見の出し合い

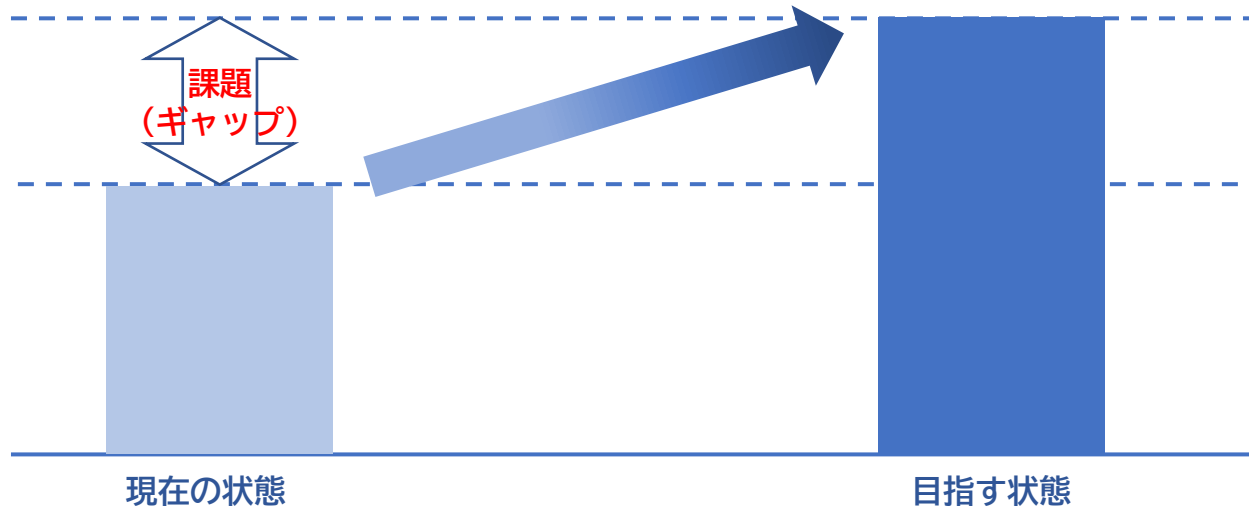
- 付箋に書いた言葉を出し合いながら、模造紙に貼り付けていきましょう。  
その際、共通点や同じ特徴ごとにグループ化しましょう。
- 共通点や同じ特徴で分けたグループを丸で囲み、グループごとにタイトルをつけましょう。

## ワーク④ 課題

### ① 個人ワーク：意見の書き出し

- 現状（ポジティブ、ネガティブ）と将来像を見比べて浮かんでくる課題を付箋紙に記入しましょう。

#### 【課題抽出のイメージ】



### ② グループワーク：意見の出し合い

- 付箋に書いた言葉を出し合いながら、模造紙に貼り付けていきましょう。  
その際、共通点や同じ特徴ごとにグループ化しましょう。
- 共通点や同じ特徴で分けたグループを丸で囲み、グループごとにタイトルをつけましょう。

# ワーク④〔応用〕 みんなで取り組む解決方策

〔応用〕は、パターン④または⑤の場合のみ実施します。

## ① 個人ワーク：意見の書き出し

- 課題を解決するためにみんな（行政、民間、NPO、大学など）が役割分担しながら取り組むことについて、付箋紙に記入しましょう。

<例>

テーマ：デジタル技術を活用した地域活性化と行政運営の効率化

<課題>

- 高齢者のオンライン申請のサポート
- デジタル人材を増やす

<みんなで取り組むこと>

- 【行政、民間】 デジタル技術について知る機会の提供（イベント、研修等）
- 【行政】 デジタル技術を取得する人への費用支援
- 【民間】 高齢者にも難しくないオンライン申請システムの開発

### 【考え方のヒント】

正解、不正解はありませんので、自由なアイデアを考えてみてください。

- 既に行われている取組や他の自治体、企業が行っている取組でもOK
- 実現が難しそうなお金がかかりすぎる、壮大すぎる等

## ② グループワーク：意見の出し合い

- 付箋に書いた言葉を出し合いながら、模造紙に貼り付けていきましょう。  
その際、共通点や同じ特徴ごとにグループ化しましょう。
- 共通点や同じ特徴で分けたグループを丸で囲み、グループごとにタイトルをつけましょう。

## ワーク⑤ 自分にできる解決方策

### ① 個人ワーク：意見の書き出し

- 課題を解決するためにあなたやあなたの身の周りの人が日々の生活の中でできそうなことについて、付箋紙に記入しましょう。

<例>

テーマ：デジタル技術を活用した地域活性化と行政運営の効率化

<課題>

- ・高齢者のオンライン申請のサポート
- ・デジタル人材を増やす

<自分にできること>

- ・身近なデジタルツールについて学ぶ
- ・ITパスポート（資格）の取得

### ② グループワーク：意見の出し合い

- 付箋に書いた言葉を出し合いながら、模造紙に貼り付けていきましょう。  
その際、共通点や同じ特徴ごとにグループ化しましょう。
- 共通点や同じ特徴で分けたグループを丸で囲み、グループごとにタイトルをつけましょう。

# 意見交換内容の共有（発表）

## ① 発表準備

- グループ内でどのような意見が出たか、班ごとに発表します。  
※各班より代表で1名、5分程度
- これまで出された意見やアイデアを振り返り、発表内容をまとめましょう。

### <発表内容>

- テーマの施策名
- 現状の強みと弱み(それぞれ代表的な意見を1～2個程度)
- 理想の姿(代表的な意見を1～2個程度)、その理由
- (ワーク④で[応用]まで取り組んだ場合)  
課題とその解決に向けてみんなに取り組んでほしいこと(代表的な意見を1～2個程度)
- 課題とその解決に向けて自分にできること(代表的な意見を1～2個程度)

## ② 各班より発表

- グループ内でどのような意見が出たか、班ごとに発表しましょう。

## 【メモ】

他の方の意見や気づいたこと、感想などを自由にメモしましょう。